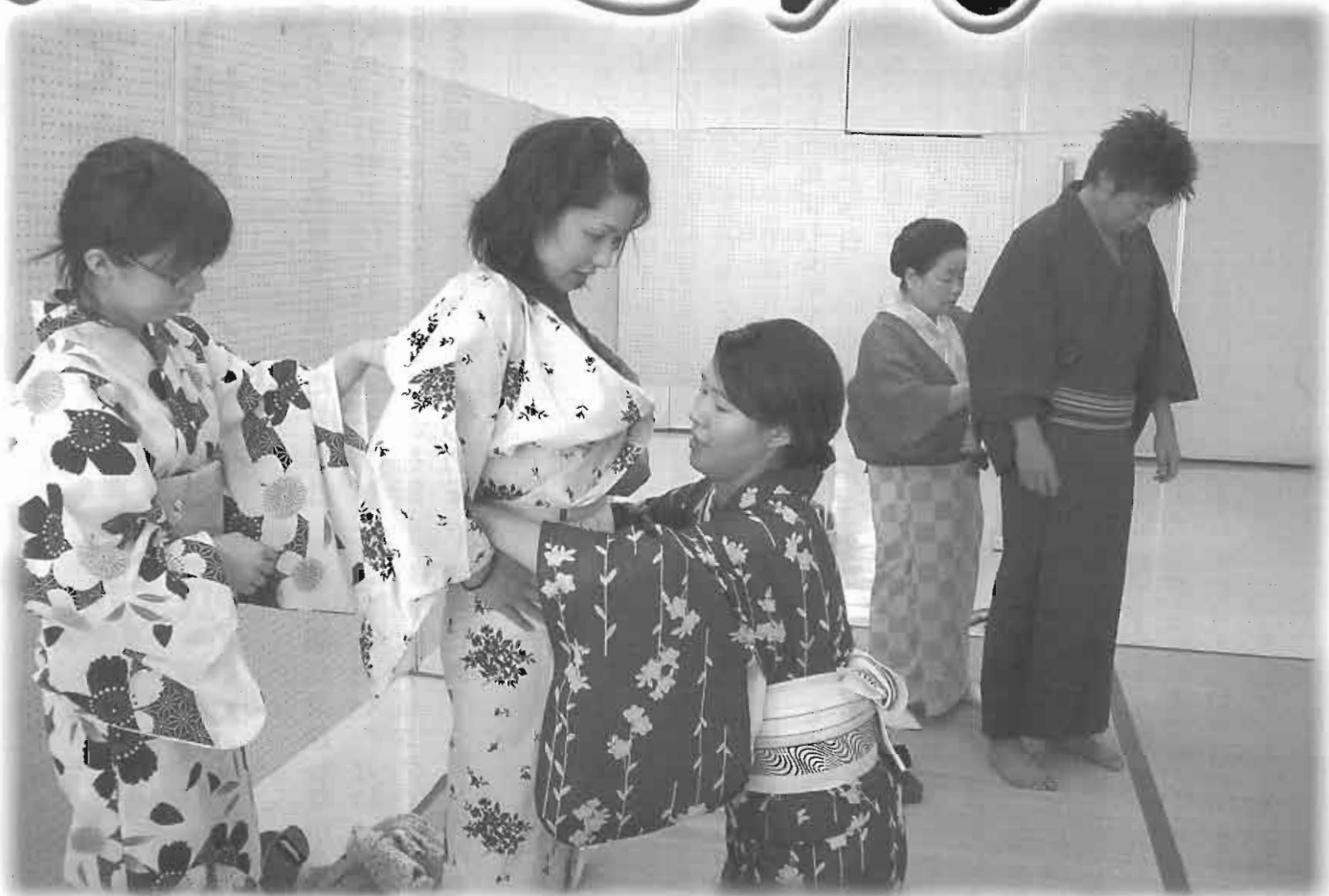


はんさん

Vol.15
2006年9月

【はんさん】は【Hot And New South Akita Npo】の頭文字から名付けた造語。【県南のNPOを情報でつなぐ】という思いをこめました。



横手の送り盆(8月15日、16日)に、遠方からお越しの方や着付けが難しく…とあきらめていた方に、ゆかたの着付けを行いました。これは、着付けボランティアの会(高橋美代子代表)が2002年より行っているもので、遠方の方が何も持たずに訪れても、ゆかたで出かけられるようにと、貸し出し用のゆかたも取り揃えております。お祭りのお囃子が聞こえてくると、着付けを希望する人たちが次々に訪れ、きれいに着付けをもらい祭りへと出かけていきました。

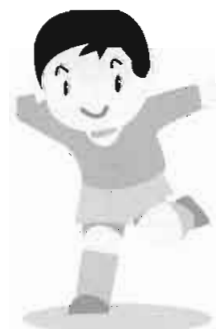
トピック **子育て支援を自分たちの手で**

活動ウォッチング **NPO法人 県南介護サポート かがやきネット**

クローズアップ/助成金情報/イベント情報/コラム県南弁ゼミナール

トピック

子育て支援を自分たちの手で 地域の力を最大限に活かして



県では、次代を担うすべての子どもと子育て家庭のために、社会全体で子育てを支えていく地域社会をつくりたいと考え、秋田県次世代育成支援行動計画(あきたわか杉夢っ子プラン)を策定しました。そんな中、子育てを地域のさまざまな人たちの力を

最大限に活かしながら、自分たちも地域の中で何かできることをしたい」といった活動が盛んになってきました。そこで、今月のトピックでは、自分たちの力を引き出しながら、子育て支援に関する取り組みを展開している団体を紹介します。

自分たちがやりたいことは、
自分たちの手で…

ピッカブー赤ちゃん会 事務局 佐藤あゆみさん

『ピッカブー』とは、英語で「いないいないばー」という意味で、お母さんがはじめに赤ちゃんにしてあげる遊びです。ピッカブー赤ちゃん会は、当時、地元赤ちゃん(0歳児)連れのお母さんたちが集まれる場やサークルがなかったことから、2001年1月に設立した自主サークルです。「自分たちがやりたいことは自分たちの手で」をモットーに、月に一回集まり、お母さんたちが楽しめるものを会員の中から講師になってもらい行ってきました。コーヒィのおいしい入れ方講座、ゆかたの着付け講座、豆腐作り、リース作りなどをお互いに学び合うことよって自信にもつ

ながり、〇〇ちゃんのお母さんだけではない自分を実感できます。また、フリーマーケット等で、資金作りをしながら、年に2回講演会も企画し、地域の方々に呼びかけをしながら活動を行っています。お産や小児科医、※シユタイナー教育の講演会など、自分たちが学びたいことを実践してきました。この講座に関わることにより、いろいろな場で活かされていきます。そして、お母さんたちが楽しんで生活できることが、子育てにも反映されていきます。これからもこの活動を絶やすことなく、若いお母さんたちの意見が反映できるように企画を一緒に考えていきたいです。

※ルドルフシユタイナーの人智学に基づく教育哲学、思想・理論、実践のこと。



▲お産の講演会(パースコーディネータ 大葉ナナコ氏)の様子

情報誌を通してつながっていききたい……

横手の子育て応援誌 『おもちゃばこ』 佐藤由布子さん、伊藤千春さん、山田直美さん

子育て応援誌 『おもちゃばこ』は、子育て中のお母さんたちの応援誌として、自分たちが欲しい情報を同じように望んでいる人へ届けようとはじめました。また、育児サークル等に顔を出せないお母さんたちにも情報誌を通してつながってほしいという望みもありました。内容として、子育て中の素朴な悩みから、地域の情報、サークル紹介、イベント情報、おやつレシピなど役立つ情報を掲載しています。メンバーは子育て真っ最中のお母さんたちで、横手市子育て支援センターの支援を得て年に4回600部発行しています。発行を重ねていく中で、1人では難題であっても、仲間が集まって各方向に声をかけていくことで、いろいろなアイデアが生まれてきて、少しずつ解決していく、どんな方向へ向かっていくかということを実感できました。また、表紙に子どもたち

の描いた絵を載せることによって、より親しんでもらうことができ、それが自分たちの励みにもなっています。前回の30号から新しいメンバーに入れ替わりました。今後は新メンバーで、気持ちも新たに旬の情報や、別の目線からの取り組みなどに挑戦していきたい、一緒に子育てをがんばっているお父さんたちにも読んでもらえるような紙面作りをしていきたいです。



▶おもちゃばこメンバーの佐藤さんと伊藤さん

子育て支援に役立つ本！

「子育て支援でシャカイが変わる」

杉山 千佳著

子育てがツライのはあなたのせいじゃないよ！

社会のなかで子どもを育てるとは、子育てを親だけで抱え込んでしまうことの限界・地域で子育てするということ・NPOと行政の協働で行う子育て支援など子育て支援に関するお役立ち情報が満載です。



■問合せ：日本評論社
<http://www.nippygo.co.jp>
TEL.03-3987-8621



活動ウォッチング

県南地域で活動している団体を紹介し、活動に興味を持たれた方、参加したい方は、各団体に直接お問い合わせください。

横手

NPO法人 県南介護サポート かがやきネット
理事長 谷川都子 電話&FAX:0182-32-2388

後にも応援していきま

かがやきネットは、在宅介護者支援の一環で市民グループ6名で、2001年に「福祉用具展示会」を開催したのが始まりでした。2003年に賛同者を募り、70名の会員が集まりNPO法人を設立しました。以後、「かがやきネットまつり」を毎年開催し、福祉用具展示、介護技術講座、健康・福祉相談など年間活動を紹介するイベントとして定着してきました。また、今年度から法制化された介護サービス情報の公表・グループホームの外部評価などの調査員を調査機関に派遣し、介護と福祉のサービスの質の向上に貢献しています。来年度からは福祉サービスの第三者評価にも参加します。在宅介護で疲れたり、体を壊したりしないよう福祉用具を上手に使用したり、早めの相談で心身の健康を保ち、優しい気持ちで介護できるような今後も応援していきま



▶9月2日(土) かがやきネットまつりの会場での様子

クローズアップ

NPO法人が聴覚障がい者の体験談を出版! 『ほちょうき とりて』

NPO法人 みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会が、『ほちょうき とりて』という本をまとめました。聴覚障がい者、とくに中途失聴・難聴者が、日常生活で感じていることや気づいたことを記しました。感じたままに素直な気持ちで表現された言葉は、読む人の心を捉えます。障がいを持った人々の目線に立って、障がい者と健常者が共に生きる地域をつくるヒントが秘められています。購入ご希望の方には、1冊700円+送料で販売中。南部市民活動サポートセンター図書コーナーにも1冊所蔵しています。



■問い合わせ
みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会
FAX:0223-34-7692

助成金情報

環境

◎森づくりの活動に取り組んでいる団体を支援します。

制度名:花王・みんなの森づくり「プロジェクト助成」

対象:既に緑を守り育てる活動(森づくりの活動)に取り組んでいる団体が行う森づくりの活動。

助成金:1件あたり100万円を上限。30件程度を予定。

応募締め切り:10月31日

問い合わせ:財団法人都市緑化基金「花王・みんなの森づくり活動助成」係

TEL:03-5275-2291

FAX:03-5275-2331

関連URL:

<http://www.urban-green.or.jp/>

環境

◎これから森づくりの活動に取り組もうとする団体を支援します。

制度名:花王・みんなの森づくり「スタートアップ助成」

対象:新たに森づくりの活動に取り組もうとする団体及び設立後1年未満の森づくりの活動に取り組んでいる団体、新たに森づくりの活動に取り組むための団体を立ち上げようとするグループが対象。また、いずれの団体においても、森づくりの活動を3年以上継続することが必要。

助成金:助成は3年間継続。1件あたり初年度の助成金は、30万円を上限(3年間で総額100万円を上限)。5件程度を予定。活動状況によっては、2年目、3年目の助成の継続を中止することがあります。

応募締め切り:10月31日

問い合わせ:財団法人都市緑化基金「花王・みんなの森づくり活動助成」係

TEL:03-5275-2291

FAX:03-5275-2331

関連URL:

<http://www.urban-green.or.jp/>

福祉・子育て

◎高齢者や障害者の福祉、子育て支援、青少年の健全育成等に取り組む活動を支援します。

制度名:平成19年度長寿・子育て・障害者基金事業助成金

対象:高齢者や障害者の在宅福祉、生きがい・健康づくり、子育て支援、青少年の非行防止や健全育成、障害者スポーツの振興等に取り組む民間団体の活動で、社会福祉法人、公益法人、特定非営利活動法人、法人格のない任意に設立された団体が対象。

助成金:【特別分助成】独創性、先駆性、普遍性のある事業を対象。1件あたり500万円を上限。【地方分助成】地域で活動するボランティア団体等民間の地域の実情に即したきめ細かな事業を対象。1件あたり200万円を上限。【地方分モデル事業助成】携帯電話メールによる子育て情報配信事業をモデル事業の対象にし、1件あたり200万円を上限。

応募締め切り:10月31日

問い合わせ:独立行政法人福祉医療機構 基金事業部 振興課

TEL:03-3438-9946

FAX:03-3438-0218

関連URL:

<http://www.wam.go.jp/wam/gyomu/kikinjigyou/>

環境

◎緑化活動を支援します。

制度名:第17回コメリ緑資金

対象:コメリの出店地域で公共性のある緑化活動に取り組む、法人・団体。

応募締め切り:10月31日

問い合わせ:株式会社コメリ「コメリ緑資金の会」事務局 担当:早川・長谷部

TEL:025-371-4112

FAX:025-371-4151

関連URL:

<http://www.komeri.bit.or.jp/>

福祉

◎社会福祉に関する事業、社会的課題に関する支援事業を支援します。

制度名:平成19年度社会福祉事業研究開発基金

対象:【一般助成】社会福祉に関する民間の事業で、先駆的・開発的活動研究に従事する個人および団体 【特別助成】国内において、対応が急務となっている社会的課題「①精神障害者(発達障害者を含む)支援 ②児童虐待防止 ③ホームレス支援 ④更正保護活動 ⑤認知症支援」に関する民間の支援事業

助成金:【一般助成】1件あたり50万円を上限、総額500万円。【特別助成】1件あたり100万円を上限、総額4,000万円。

応募締め切り:9月30日

問い合わせ:社会福祉法人社会福祉事業研究開発基金助成申込係 担当:和田

TEL:03-3497-1408

FAX:03-3497-5199

IT

◎情報通信を通じて社会や教育等に貢献する活動を支援します。

制度名:社会的・文化的諸活動助成

対象:情報通信を通じて社会や教育等に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。助成金:1件あたり100万円を上限、10件程度。

応募締め切り:10月20日

問い合わせ:財団法人国際コミュニケーション基金

TEL:03-6716-1181

FAX:03-6716-1186

関連URL:

<http://www.icf.or.jp/information/>

9/30 センターまつり

センター登録団体活動発表です。展示、模擬店、バザー、演奏など…ご家族で、お友達と体験してください。

日時：9月30日(土)11:00~14:00

場所：秋田県南部男女共同参画センター

主催・問合せ：秋田県南部男女共同参画センター
TEL.0182-33-7018 FAX.0182-33-7038

10/1、10/22

多文化共生のためのコミュニティ・サポーター研修会

地域で情報弱者となる外国出身者をサポートする‘ひとづくり’と‘きずなづくり’に取り組んでいきます。

日時：10月1日(日)10:00~15:00

インフォメーション・サービスが支えるまちづくり

10月22日(日)10:00~15:00

新潟中越地震から学ぶ危機管理

場所：秋田県国際交流協会

主催・申込み：秋田県国際交流協会 担当：川合、小山田
TEL.018-864-1181 FAX.018-864-0160
<http://www.aiahome.or.jp>

10/5 NPOマネジメント講座

うまく活動につながらない、広がらない団体の方へ！
団体運営に必要なテーマで、即効性のある講座を展開！
団体の弱点を補い解決に導きます。

日時：第1回 団体の事務局運営 10月5日(木)13:30~16:30

第2回 団体の事業戦略 10月5日(木)18:30~21:30

場所：仙台市市民活動サポートセンター

定員：30名(先着)

参加費：1,000円(各回)

主催：仙台市

企画実施：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

問合せ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL.022-212-3010 FAX.022-268-4042

10/14 おはなしゆーとびあ

湯沢雄勝の名読み聞かせグループの発表と「子どもたちと絵本を結ぶ読み聞かせ」と題して講演会を開催します。

日時：10月14日(土)10:00~3:30

午前の部：お話し会 午後の部：講演と読み聞かせ実演

場所：湯沢文化会館中ホール

講師：秋田敏博氏(お話しちゃんこなべ 代表)

参加費：200円(大人・午後の部参加者のみ)

託児：有り(無料) 締切り：9月20日(水)

主催・申込み：お話しタイム 平山貞美
TEL&FAX.0183-72-3838



9/19 NPO法人の活動基盤強化に関する研究会

寄附を集めるために必要な事務処理、認定NPO法人制度の活用策などについて学びます。

日時：9月19日(火)13:30~17:00

場所：山形県村山総合支庁講堂

対象：「たくさん寄附を集めたい」「認定NPO法人になりたい」と考えている法人、NPO法人に関心のある税理士、会計士

定員：100名

主催：内閣府国民生活局

問合せ：特定非営利活動法人山形創造NPO支援ネットワーク
TEL.023-647-0675 FAX.023-647-0676

9/22 子育て支援と社会環境づくり

育児支援と親の人材育成のサポートを目的にネットワークをつくり、研究交流を行います。

日時：9月22日(金)13:30~15:30

場所：秋田県南部男女共同参画センター

講師：杉山千佳氏(子育て環境研究所 代表)

定員：30名

主催・問合せ：秋田県南部男女共同参画センター

TEL.0182-33-7018 FAX.0182-33-7038

9/23~24 第1回やるーんセミナー

親と教師がともに学ぶこと、そして、その学びを深め広げるためのセミナーです。

日時：9月23日13:00~21:30

24日 8:00~15:00

場所：国立岩手山青少年交流の家

参加費：PPJ会員6,000円 非会員8,000円

(研究会のみ参加する方は、1日目、2日目とも各2,000円です。)

主催：ペアレント・プロジェクト・ジャパン

<http://iwate.niye.go.jp>

申込み：佐藤佳子 FAX.019-676-5753

Email:yoshicur@yahoo.co.jp

少子社会を生きる！エッセイコンテスト

少子社会の中で、次代を担う若い世代の皆さんが、これからの自分たちの暮らしをどのように考え、どう生きようとしているのでしょうか？ ご意見をつづったエッセーを募集します。

応募資格 15歳以上40歳未満の方 1人1作品に限ります。

応募締切 9月29日(金)

表彰 【こども未来財団賞1編】賞状、楯と賞金50万円他

主催 こども未来財団、読売新聞社

問い合わせ

こども未来財団事業推進部企画課

TEL.03-6402-4823

<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp>

レバノン避難民支援・レバノンYWCA・パレスチナYWCA支援募金のお願い

レバノンYWCAとパレスチナYWCAを支えるための支援募金を開始します。募金は、この地域の女性と子どもの生活に必要な物資の購入と、レバノンとパレスチナのYWCAが緊急に必要とする費用に充てられます。

締切 9月末日(必着)

※その後の状況によっては受付期間を延長いたします。お問合せください。

振込先

<口座名義>日本キリスト教女子青年会

<口座番号>00170-7-23723

※振込用紙の備考欄に「レバノン・パレスチナ/緊急支援募金」とお書きください。

連絡先 日本YWCA(担当:東)

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8

TEL.03-3264-0661 FAX.03-3264-0663

E-mail:office-japan@ywca.or.jp

お寄せ下さい！

イベント情報掲載記事を募集しています。

県南のボランティアイベント 情報のコーナー

イベントタイトル/開催日時/会場/問い合わせ先/申込先・場所・電話・FAX/内容など100字程度でチラシがあれば一緒に送ってください。また、紙面に関する皆様のご意見、ご感想もいただければ幸いです。

(次号は10月20日以降の情報となります。)

〒013-0046 横手市神明町1-9

南部市民活動サポートセンター 「はんさん」編集部

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

募集情報



森林ボランティア募集

秋田県民総参加の森林づくりを行っていくため、森林づくりボランティアを募集・登録しています。

応募資格 個人登録/満18歳以上

団体登録 団体の構成は問いません

会員特典

登録証の交付。森林づくり活動等の情報提供。技術指導。スタンプラリー参加権など。

問合せ 社団法人 秋田県緑化推進委員会

TEL.018-883-0815

<http://www6.ocn.ne.jp/~akiryoku/>

青少年と発見！体験！秋田県！ チャレンジコンテスト参加者募集

秋田県では、青少年と異世代と一緒に各種体験活動を通じて、心身の鍛錬とコミュニケーション能力を高めることを目的に全県から公募チームによる活動内容のコンテストを実施します。

募集チーム 先着100チーム(1チーム5~30人程度)

賞品 10万円相当ほか

応募締切 9月29日(金)

主催 秋田県

問い合わせ

秋田県生活環境文化部県民文化政策課 青少年育成班

TEL.018-860-1553

地域資源発掘調査にご協力ください

地域内でコミュニティビジネスに活用できる資源「人」「もの」「資金」などの資源発掘を行い、その資源を必要としている方々に情報を提供します。集めた情報を利用しやすいデータベースに作成し、情報提供を求めてきた場合、当NPOセンターが資源保有者に要請を致します。

問い合わせ

特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

コリアム
県南弁
セミナー



⑮ 「こしゃくまける」の巻

お盆すぎ、親族と鳥海山麓のホテルに泊まった朝、八歳の孫が「私、フ・カ・ク・ニ・モ寝坊しちゃった」と叔母に告げたという。幼児の言葉とは思えない「小癩こしゃく」な言い回しで、いつ、どこで、この子の言語野に入ったのか、笑いたくなる。「こしゃくな子どもだ」と年寄りから驚かれる。「小癩」は大辞典には、「こざかしいこと、生意気なこと。「小癩者」の説明として、年のわりにませているものとある。「こしゃくまける」は「小癩」なことをすることと、「まける」がついて「言っ」という意になる。生意気で気に障るようなことを言ったりすること。この他に「こしゃけたける」という使い方もある。いつもながら下手な川柳で

○ 八歳の 言語アンテナ NWSより
○ おせっかい わが事は留守 隣むき

湯沢市在住 「会報シルバーゆざわ」編集委員 佐藤伊世子

編集後記

夏祭りの賑わいもすっかり声を潜め、夜更けの虫の声に、秋の深まりを感じます。静まり返った夜は、私たちの合唱も穏やかな気持ちで聞き入ることができます。夏の疲れが残る季節、体も心も労わりながら、実りの秋を迎えたいものです。(AKKO)

今月の活動ウォッチングとクローズアップでは、福祉活動団体の方々からお話を伺いました。支援を必要としている人々の視線で福祉サービスを考える地域を目指したいです。来月のトピックでも、「福祉」をテーマにする予定。ごう、ご期待！(こまつ)

暑い夏でした。地球温暖化が進んでいるあらわれなのでしょうか。今の子供達が大人になった時、少なくとも今と同じ夏が過ごせるよう、スーパーでもらった「エコ家計簿」を参考に、身近な省エネから始めてみます。(たけ)

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

秋田県のボランティアや市民活動などに関する情報や話題をみなさんのもとへお届けしています。登録していただくと団体のプロフィールや目的、事業などを紹介できます。ご希望の方には各地区の情報誌をお送りします。情報誌のダウンロードもできます。

南部市民活動サポートセンター

どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

相談時間 午前9時～午後6時(月～水・金曜日)

午前9時～午後5時(土曜日)

木曜日は休館日

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

ボランティア・NPOニュース 県南版 はんさん9月号
2006年9月15日発行

発行：秋田県生活環境文化部地域活動支援室

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2

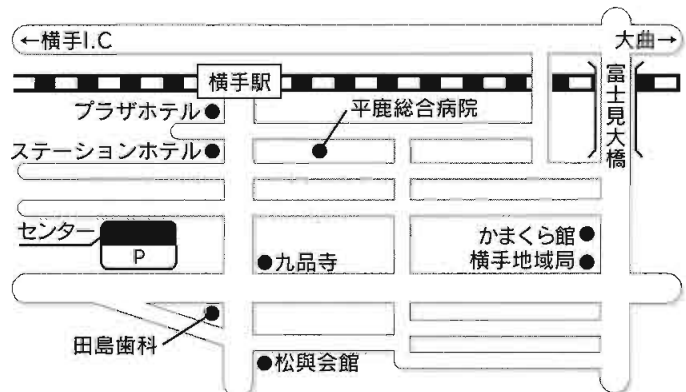
TEL:018-860-1520

編集：特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター

〒013-0046 横手市神明町1-9

(南部市民活動サポートセンター)

TEL:0182-33-7002 FAX:0182-33-7038



当センターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県南NPOセンターが運営しております。

この印刷物は1,600部作成し、印刷経費は1部あたり27円です。